



# 3年間のまとめ 3(6)

【1】の復習 中1「資料の整理」▶



【1】右の表は、40人の生徒のハンドボール投げの結果を相対度数分布表に整理したものである。

(1) 相対度数分布表を完成させなさい。

$$(\text{相対度数}) = \frac{(\text{ある階級の度数})}{(\text{度数の合計})}$$

⇕

$$(\text{ある階級の度数}) = (\text{相対度数}) \times (\text{度数の合計})$$

(2) 記録が10番目に良い生徒は、どの階級に入るか答えなさい。

答え 18m 以上 22m 未満 の階級

記録(m)	度数(人)	相対度数
以上 6 ~ 未満 10	2	0.05
10 ~ 14	6	0.15
14 ~ 18	14	0.35
18 ~ 22	11	0.275
22 ~ 26	4	0.1
26 ~ 30	3	0.075
計	40	1.000

(3) 記録が22m以上30m以下の生徒の割合は全体の何%ですか。

相対度数より求めると、 $(0.1+0.075) \times 100=17.5$

答え 17.5%

【2】縦が4cm、横が6cmの長方形ABCDの紙を、対角線ACで折り、右の図のように辺ADと辺B'Cの交点をEとする。

このとき、CEとEDの長さを求めなさい。

△CDEと△AB'Eで、

$\angle D = \angle B' = 90^\circ$ ,  $\angle DEC = \angle B'EA$  であるから

$\angle DCE = \angle B'AE$

また、 $CD = AB' = 4\text{ cm}$

よって、一組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから

$\triangle CDE \cong \triangle AB'E$

CEの長さを  $x\text{ cm}$  とすると、

$CE + EB' = BC = 6(\text{cm})$ ,  $EB' = ED$  だから、 $x + ED = 6$

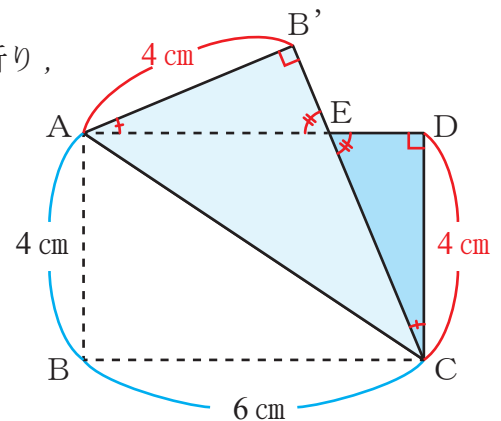
$$ED = 6 - x (\text{cm})$$

△CDEは $\angle D = 90^\circ$ の直角三角形なので、三平方の定理より、

$$CE^2 = CD^2 + ED^2$$

$$x^2 = 4^2 + (6 - x)^2 = 16 + 36 - 12x + x^2 = 52 - 12x + x^2$$

これを解いて  $x = \frac{13}{3}$ , よって  $CE = \frac{13}{3}(\text{cm})$ ,  $ED = 6 - x = \frac{5}{3}(\text{cm})$  である。



CE  $\frac{13}{3}\text{ cm}$

ED  $\frac{5}{3}\text{ cm}$

【2】の復習 中3「三平方の定理・平面図形への活用」▶

